

午前9時25分 開会

○宮本会長 では、時間が少し早いんですが、すいません。 そしたら、本日の署名人は石川委員と谷川委員ということでお願いします。

○宮本会長 欠席はゼロです。

では、議案第1号にかかりたいと思います。

事務局、よろしくをお願いします。

○事務局 それでは、失礼いたします。よろしく願いいたします。

まず、議案第1号でございますが、このたび農地転用のため所有権を移転したい旨の申請がございました。申請は5条になります。

農業委員会受付は、令和3年3月23日でございます。所在地は、お手元の資料にありますとおり字〇〇、番地は●●●番●、それと●●●番●、地目は田、台帳、現況とも田でございます。面積は、●●●番●が915平方メートル、●●●番●が262平方メートルで、合わせて1,177平方メートルでございます。

譲渡人は、坂出市●●●、●●●様、また宇多津町●●●、●●●様でございます。譲受人は、大阪市●●●、●●●株式会社代表取締役●●●様でございます。

位置図を御覧いただきますと、所在地西側に用水路がございますが、その水利、聖通寺横井水利組合については既に同意をいただいております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○宮本会長 では、地元の。

○谷川委員 これは水利組合は承認しとります。

○宮本会長 はい、分かりました。

皆さんの御意見ありますか。

特にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本会長 分かりました。そしたら、許可ということで進めさせていただきます。

○事務局 ありがとうございます。

○宮本会長 では続きまして、議案第2号その他の項、事務局、ありますか。

○事務局 前回、ちょっと私には会には出てなかったんですけども、アンケート調査というのがございました。5月10日までのアンケートということで、今回、課長のほうがそのあたりをまとめていただいておりますので、途中経過ということで御報告させていただきます。

ます。

○事務局 すいません。それでは、アンケートの途中経過と申しますか、速報的な話になるかと思えますけれども、皆様に御報告をさせていただきます。

再度、確認も含めまして申し上げます。

調査対象者につきましては、おおむね1,000平方メートル以上の農地を有する農家159名が対象となっております。調査方法といたしましては、対象者のほうに郵送にて実施。郵便到達が159名中157通、未到達が2通ということになってございます。4月19日付、昨日付でのこちらの回収のほうは63通で、回収率といたしまして40.13%、4割ちょっとが回収できておると。

これは今後5月10日が締切りということになっていきますので、その段階できっちりした確定はさす方向ではありますけれども、現在のところ、回答者の平均年齢が68.8歳。やはり皆様も御想像のとおりと申しますか、60歳代が現在のところ21名の33%、70歳代が25名で39.6%ということで、過半数は60歳以上の高齢者がやはり中心になっておるというところがございます。

それと、後継者の質問等が出ておりましたけれども、こちらのほうで後継者がいるというところが47.6%ということで、半数を切っておるような状況が見受けられるところがございます。

すいませんが、はしょって説明をさせていただきますと、あと特別質問ということで今後の農地の利用をどうするのか、どのように考えておるのかという質問でございますけれども、63名中52名までが現状維持を希望しておるというところがデータとしては今上がってございます。

それと、農業委員さんの非常に興味のあるところになるかと思えますけれども、農業経営規模拡大促進事業ですかね、こちらの話を「知っている」と「少し聞いたことがある」の合わせて16名、パーセンテージにして約25%ということで、4人に1人しか御存じないというようなデータも出ております。当然のことながら「知らなかった」は回答中32名で50%を超えておる。その他、無回答の方も15名ほどおられますので、この辺の周知については今後の課題であるのかなというような気はいたしております。

これに伴いまして、「知っていた」「少し聞いたことがあった」が25%しかございませんので、当然のことながら「借手として」とか「貸手として」の「思う」という方は非常に少ない状況。借手として制度を利用しようと思う人につきましては3名、4.7%、

「少し思う」は1名ということで、合わせて4名しか実際おられない。なおかつ、貸手として制度を利用等してもいいと思われる方につきましても、合わせて9名、約14%程度というところになっております。ですから、これだけを見ると現状維持が皆さん原則として頭にあるのかなというところがちょっと見えてくるところでございます。

当然、これ、アンケート調査、町のアンケート調査、様々なアンケートが皆様来ると思うんですけども、大体40%ぐらいが平均になっておりますので、この段階で約4割ということですので、町を取るアンケートの平均ぐらいは、あと3週間ほど残しておりますけれども、まあ達成はしておるのかなという中で、この4割、ひよっとしたら最終的に5割になるかもしれないですけども、これをもって成果とするものか、その後もう少し精度を上げるために何らかの活動をするものかというのがちょっと事務局としてはその辺の方向性を各委員さんのほうで決めていただけたらと思います。

かいつまんだ報告になってしまいました。以上で報告ということにさせていただきます。

事務局からは以上でございます。

○宮本会長 ありがとうございます。

今のアンケート、途中経過なんですけど、あと3週間ほど残した中で40%の回答率と。これはずっとアンケートの表現の内容とか皆さんで議論をいろいろしてきた経緯があります。5月10日をもちまして最終の集計を行って、私のイメージとしては集計を行っていただきまして、そのときにまず返却、回答がない部分についての対応をどうするか。それは各地域、各地区における委員の皆さんで一声、未回答の方に声をかけていただいて、それで回答のパーセントをできるだけアップして、それから傾向を調査するというところで今までの方向性は見いだしていってるというふうに考えております。

それからいいますと、5月10日をもって、アンケートの一番最後のところに委員の名前を書く欄がありますので、これで例えば津の郷地区とか鍋谷地区とか、各地区における委員が今おられますので、その人で回答が未返却の方に当たっていただくというリストで進めていきたいなど。皆さんに未返却の方に声をかけて、そして回答をいただけるように頑張ってください。

○大坂委員 すいません。

○宮本会長 はい、どうぞ。

○大坂委員 その分で、この分のアンケートを取るときに地区的に人数の格差があると。

それを全体で取り組むようにしてくれという話はしたと思う。

○大坂委員 だけん、地区の役員に声かけしてくれというたら、バランスが狂うやろう。

○宮本会長 今から言います。それで、地区で少ないところ、あるいは例えば委員1人当たりに対して少ないところ、あるいは多いところ、今言われるアンバランスが出るので、それをまた区分けすると。だから、地区においての未返却数と委員の数と、それでバランスを図って皆さんでどういうふうに対応するかというのも検討課題ということで進めようと思っています。

前回、ちょっと私のほうから個人的に事務局のほうで電話でも回答を促していただけませんかということを申し上げた。3月のときに申し上げたんですが、それは事務局としては電話番号はそういうものに使えないということで、それは仕方がないということで、皆さんの委員のほうで後、これは私は今までのこのアンケートを取るときの議論の中で出てきた方向性です。やり方です。だから、今アンバランスの話も当然出ましたし、それで皆さんで再度それを未回答の部分をどういうふう処理するか。これを5月の農業委員会で議論していただいて、また進めていきたいなど。

当然のことながら、100%というのはまずあり得んと思いますから、できるだけ回答数を増やして、そうするとより精度が高い傾向が把握できると。それによって今後の方針を決めていくというふうなイメージであります。

何か皆さんの意見がございましたらどうぞ。

5月10日までが一応期限なんで、できるだけ回答が、返却が増えてくればそれだけ今度当たる数が少なくなるというふうには思っておりますから、期待はしておるつもりなんです。

そういう方向で5月の農業委員会のときに今後の方針というのをまた議論させていただきたいと考えております。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本会長 そしたら、そういう方向で。

また事務局、5月20日の農業委員会、ちょっと曆的に前になると思いますが、集計のほうをよろしくお願ひしたいと思ひます。

○事務局 はい、承知いたしました。

○宮本会長 あと、その他何かありましたら。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本会長 そしたら、ちょっと私のほうの。

実は3月22日に香川県の全県下17市町村の農業委員会会長・事務局長会議がありました。今のアンケートの話と関連するんですが、その中で香川の農地利用最適化推進一斉強化運動と、このアンケートの表紙にも書いていたと思うんですが、その取組についての話がありました。

これは全県下ですので、いろんな地域が市町村でやっております。宇多津町は今言いましたように159軒で、農業委員1人当たりの割当てが大体20軒ということで、大体各町ではほとんどそのぐらいが平均、町においては大体20軒が平均的に近いところでありました。

後のスケジュールにつきましては、各市町村でちょっとばらつきもあるんですが、大体令和4年1月までに農業会議のほうへ提供という形が示されておりまして、本町でしたら5月10日が締切りなので、それから何か月、意向調査をやりまして、それから集計をやって、皆さんの意見を加味して、また農業会議のほうへ報告するというような形で動いているという説明がございました。

これは宇多津町も当然、皆さん御存じのように全県で動いてますので、また何か他の丸亀とか坂出地区とか接触する方がありましたら、どんな状況でどうですかというようなことも話し合われても結構かと思われまますので、ちょっと報告がてらに説明しておきます。

以上です。

そしたら、事務局、いいですか。

○事務局 特にございません。

○宮本会長 そしたら、もうほかありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本会長 そしたら、ちょっと時間が早いんですが、閉会とします。

御苦労さんでした。

午前9時43分 閉会